第１回 酒田市総合計画未来会議

日時｜平成２８年６月１８日（土）
１３：３０～１６：３０
場所｜総合文化センター
３階 コミュニティルーム

次　第

1　開　会

2　あいさつ

3　説　明

・総合計画策定の進め方、未来会議の役割について

4　講　話

演題｜いっしょにやる、ということ
～ 今、なぜ「対話」を活かした市民参画が求められているのか ～
講師｜酒田市総合計画市民参画アドバイザー
加留部 貴行　氏

5　ワークショップ

進行｜酒田市総合計画市民参画アドバイザー
加留部 貴行　氏

6　その他

・今後のスケジュールについて
・市民大学のご案内　　　　　　等

7　閉　会

総合計画策定の体系図

●中学校＆高校＆公益大における総合計画を考えるＷＳ

（授業or課外活動）
中学校・高校・公益大

鴨川市総合計画
中学生会議

総合戦略
氷見高校ＷＳ

●中高生の参加

石川県白山市では
全てのテーブルに中高生

●公益大生の参加

日和山景観づくりＷＳ（都市デ）
に参加する温井ゼミの学生

●市民アンケート

●産業・交流都市創造会議
●元気みらいワークショップ

キーワード（意見・要望・提言）

基本構想・基本計画
原案の作成

酒田市

対話による
キーワードの抽出

再度の対話

基本構想・基本計画
案の検討

大事な視点等
の意見

総合計画未来会議
（市民100人ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ）
総合計画を考えよう

連携

総合計画審議会
諮問・答申

●市民大学

「もっと酒田を知ろう」
市民の学びの場を創出

委員として参画
（学長＋1名程度）

東北公益文科大学

●職員による検討・学び

○職員ＰＴによる検討

改善推進委員会の様子

- 40歳前後の主任・調整主任
  30歳前後の主事・主任
  各10名程度
- 各部ごとに希望職員を募集し、各部2名を企画振興部長に推薦
- **学び**（ＰＴ会議や未来会議への参加）と**実践**（計画素案の作成と部内調整）

○職員研修で総合計画を考える
- 職員ＷＳ
- 財政ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝｹﾞｰﾑ

○職員アンケート

●市民フォーラム（シンポジウム）の開催

基本構想案および
100人ＷＳの実施報告
基調講演＋パネル等
※100人ＷＳの5回目と兼ねる

【参加者想定】（6/17現在）

公募	22人	公益大生	9人
無作為抽出	40人	中高生	24人
団体推薦等	20人		
		合計	115人

●地域説明会（ＷＳ）

●オープンハウス

パネル展示、クイズコーナー、ゲームなどを交えた基本構想案の紹介とアンケートによる意見聴取

酒田市 総合計画市民参画アドバイザー

かるべ　たかゆき

加留部 貴行 氏

- 国立大学法人九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授
- 認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事・運営委員
- 特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会　フェロー

【講師プロフィール】
1967年福岡県出身。九州大学法学部卒業後、西部ガス㈱入社。2001年に福岡市へNPO・ボランティア支援推進専門員として２年半派遣。07年から九州大学へ出向し、ファシリテーション導入を通じた教育プログラム開発などを担当。
企業、大学、行政、NPOの4つのセクターを経験した「ひとり産学官民連携」を活かした共働ファシリテーシヨンを実践。
2011年4月に独立。現在は、加留部貴行事務所AN-BAI代表。
他に福岡県行政改革審議会委員、福岡市研修企画アドバイザーなど。著書に『チームビルディング』『教育研修ファシリテーター』（いずれも共著、日本経済新聞出版社）など。

2016 年 6 月 18 日(土) 13:30～16:30

第 1 回 酒田市総合計画未来会議

いっしょにやる、ということ

～ 今、なぜ「対話」を活かした市民参画が求められているのか ～

国立大学法人九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事・運営委員

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 フェロー 加留部 貴行

１.「対話」とは

・「対話」＝ [　　　] × [　　　]

２.「限界集落」化しつつあるコミュニティ

・「孤軍奮闘・孤立無援」だらけの現場 ～「限界集落」の本当の意味

・「少子高齢化」は地域だけの問題ではない ～10 年後に何が起こりそうか

・「社会関係資本（ソーシャルキャピタル）」を取り戻す

⇒３つの要素…「信頼」、「互酬性の規範」、「ネットワーク」

３. 各地で広がる対話の場づくり

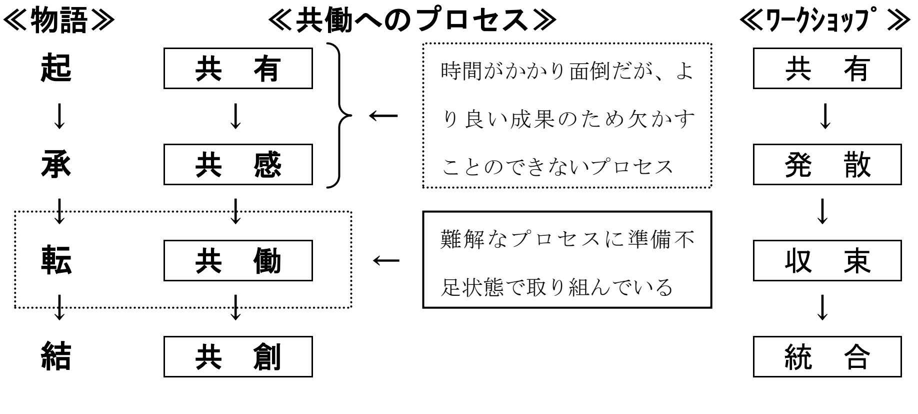
・話をしていそうで、話をしていない人同士で、話をする

・『人「交」密度』（人の交わりの密度）を増やす ～多様な世代が関わる機会を創る

・中高生に潜む力から学ぶべきは大人たち ～大人は何をすべきかを考える

４. 「共働」は「ストーリーづくり」

【図】共働へのストーリーとワークショップ（加留部作成）



総合計画未来会議　今後のスケジュール（予定）

■平成２８年度　基本構想（都市のビジョン）の策定

日　時	内容（現時点での想定）＆　会場
第１回（本日） ６月18日（土） 午後１時30分 ～４時30分	○市事務局から説明（未来会議の役割について等） ○講話（総合計画市民参画アドバイザー｜加留部貴行 氏） ○ワークショップ　○市民大学のご案内 会場｜**総合文化センター ３階 コミュニティルーム**
第２回 **７月31日（日）** **午前９時30分** **～12時30分**	○ワークショップ ・酒田の「強み」と「弱み」を知ろう　　　等 会場｜**勤労者福祉センター ３階 多目的ホール**
第３回 **８月28日（日）** **午前９時30分** **～12時30分**	○ワークショップ（グループワーク） ・関心のあるテーマごとにグループワーク （これからの酒田に必要なこと） ・財政シミュレーションゲーム　等 会場｜**総合文化センター ３階 コミュニティルーム**
第４回 **10月８日（土）** **午後１時30分** **～４時30分**	○基本構想の骨子（キーワードの羅列）の提示 ○ワークショップ（グループワーク） ・基本構想骨子に対する意見交換　等 会場｜**酒田産業会館 ４階 日本海**
第５回 **11月19日（土）** **午後１時30分** **～４時30分**	○基本構想素案の提示 ・これまでの議論の反映状況等のフィードバック ○ワークショップ（グループワーク）、公開シンポジウム ・グループごとにまとめた提言や決意表明を発表 会場｜**勤労者福祉センター ３階 多目的ホール**

■平成２９年度　基本計画の策定

日　時	内容（現時点での想定）＆　会場
第６回　５月	○市事務局から説明（進め方等） ○ワークショップ（グループワーク） ・これからの酒田に必要な施策は　等
第７回　６月	○ワークショップ（グループワーク） ・具体的な施策の提案　等
第８回　７月	○ワークショップ（グループワーク） ・施策の数値目標を考える　等
第９回　８月	○ワークショップ（グループワーク） ・誰が何を担うべきか（役割分担を考えよう）等
第10回　２月	○総合計画（案）の提示 ○ワークショップ（２年間の反省会）

平成２８年度

東北公益文科大学

市民大学講座

総合計画を考えるシリーズ ～もっと酒田を知ろう～

市民大学講座は、東北公益文科大学との連携により、市民の皆さんの学びと交流の場として開講しています。

本年度は、昼の部と夜の部を同じ内容とし、４回講座として開催します。「総合計画を考えるシリーズ～もっと酒田を知ろう」をテーマに、講師の先生の専門分野からみた酒田についてご講演をいただきます。

たくさんの参加をお待ちしております。

○日程・講座の内容／下表のとおり
○時間／昼の部：午前１０時４０分～午後０時１０分
　　　　夜の部：午後７時～午後８時３０分
○会場／昼の部：酒田市公益研修センター（東北公益文科大学構内）
　　　　夜の部：酒田市総合文化センター
○持参いただくもの／受講料　昼の部・夜の部とも　各５００円
　　　　　　　　　※１回目の講義時にご持参ください。
　　　　　　　　　※高校生以下は必要ありません。
　　　　　　　　筆記用具

	昼・夜	月　日	内容 及び 講師
1	昼の部	7月　7日（木）	「経済学の視点からみた酒田」 スルトノフ･ミルゾサイド 氏
	夜の部	7月14日（木）	
2	昼の部	7月21日（木）	「これからの酒田の観光振興について（仮）」 阿蘇　裕矢 氏
	夜の部	7月25日（月）	
3	昼の部	8月18日（木）	「酒田の国際化について」 狩野　晃一 氏
	夜の部	8月18日（木）	
4	昼の部	9月　9日（金）	「酒田の景観とランドスケープ・ヒストリー」 遠山　茂樹 氏
	夜の部	9月16日（金）	

◆市民大学講座に関するお問い合わせは、下記へどうぞ

酒田市教育委員会社会教育文化課
TEL 0234-24-2993　FAX 0234-24-5780
〒998-0034　酒田市中央西町2-59　酒田市総合文化センター内
社会教育文化課　市民大学講座　担当あて

ああこの瞬間
大事にしたいなぁ
そう思うだろう?
それが**まつり**
じゃねえのかな

2016年**6**月**25**日(土)
16:00~17:30(15:30受付開始)

会場　酒田産業会館 4階 日本海
定員　200名(申込不要)
※会場に駐車場が無いため近隣の駐車場をご利用ください

公益社団法人酒田青年会議所　6月公開例会

まつりはドラマよ

~酒田まつりの過去・現在・未来~

内容

第一部　酒田まつりの「過去」
400年以上続く酒田まつりのルーツや歴史をドラマチックに紐解きます

第二部　酒田まつりの「現在」と「未来」
近年の酒田まつりをドキュメンタリーにした『まつりにはドラマがある』をご覧いただきます

JCI [お問い合わせ] 公益社団法人酒田青年会議所　地域と共に誇れるまつり委員会
Tel:0234-24-9192　Fax:0234-22-8438　Mail:info@sakatajc.net　HP:http://www.sakatajc.net/